



～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので、予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2012年12月7日以降にご同意いただいた方で

多発性硬化症と診断された方

【研究課題名】

新規アラミンを用いた自己免疫疾患の診断および病態解析

【研究責任者】

鈴木春巳（国立国際医療研究センター 免疫病理研究部）

【本研究の目的及び意義】

関節リウマチ、血管炎症候群、多発性硬化症などの自己免疫疾患は炎症が遷延化し完治が困難な難病である。本研究はこれらの疾患の炎症増悪、遷延化における新規アラミンの関与を検討する。このアラミンの新規診断マーカーとしての利用や、新たな治療標的として創薬への知見が得られることが期待できる。

【本研究に提供する試料・情報】

血液

年齢、性別、診断、生活習慣、病歴、身体所見、服薬情報、臨床検査

【研究期間】

2021年3月22日～2023年3月31日

2021年5月

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターバイオバンク

所属 メディカルゲノムセンターバイオリソース部

電話番号 042-346-3520 e-mail: biobank※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)